



平成29年4月21日（金）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成29年度
第1回利根川水系渇水対策連絡協議会
幹事会（春季定例会）の開催結果について

1. 開催状況

日時：平成29年4月20日（木） 10:30～

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館14階 災害対策本部室

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 水政課	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 （代表） 048-601-3151
水政調整官 おおた ひろのり 太田 浩徳（内線）3515	
水政課長 いしだ たけし 石田 武史（内線）3551	
課長補佐 やまもと のり 山本 典（内線）3557	
河川環境課	
河川環境課長 かげやま きよ 影山 希世（内線）3651	
建設専門官 のぶつね こうじ 延常 浩次（内線）3652	

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・ 降水量（栗橋地点上流域平均）の状況
 - 1月の降水量は61mm（平均値に対する割合138%）
 - 2月の降水量は37mm（平均値に対する割合77%）
 - 3月の降水量は56mm（平均値に対する割合83%）
 - 4月18日までの累加降水量は68mm（4月の累加降水量の平均値は90mm）
- ・ 積雪の状況（4月19日9時現在）
 - 藤原ダム地点 積雪深0cm（4月18日に消雪）
 - 尾瀬沼地点 積雪深18.1cm（平均値に対する割合97%）
- ・ 利根川上流8ダムの貯水状況（4月19日0時現在）
 - 2月の少雨により、ダム群からの補給を行っており、貯水量は同時期の平均貯水量を下回っています。
 - 貯水量3億1,088万m³、貯水率67%、平均値に対する割合89%

(2) 今後の見通し

- ・ 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報；4月15日から5月14日までの天候見通し）によると、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」または「多い」となっています。
利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原）は、4月に入り徐々に融雪によるダムへの流入量が増加し、今後の降雨と融雪水により、満水状態に向かう見込みです。
- ・ 今年は、ダムの水源となる山岳部で平年を上回る積雪であったため、例年より融雪量が多くなると見込まれます。また、下久保ダム、草木ダムは、融雪水がほとんどなく、融雪水により満水になることは期待できません。
- ・ 更に、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足すること考えられます。
- ・ 鬼怒川上流4ダムの貯水量は同時期の平均貯水量を上回っており、今後下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためダムからの補給を行っていきます。降雨状況によっては、貯水量が不足すること考えられます。

(3) 今後の対応

- ・ 利根川上流8ダム、鬼怒川上流4ダム等は、本年の利根川上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、下流施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- ・ 上流ダム群の貯水量の状況や積雪及び降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- ・ 利根川水系渇水対策連絡協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的な対応を行っていきます。

平成29年度 第1回利根川水系渇水対策
連絡協議会幹事会（春季定例会）資料

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダム上流部（平成29年4月10日撮影）

平成29年4月20日

関東地方整備局

1. 利根川上流8ダム等の現状

1) 利根川

(1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（平成29年4月18日までの降水量）

平成28年4月以降の栗橋上流域平均月降水量は、5月、6月、7月及び10月が平均値を下回りました。なかでも、5月の降水量は56mmで月間平均値（昭和23年～平成27年）に対する割合は48%であり、昭和23年以降の69年間で6番目に少ない降水量となりました。

平成29年に入り、1月は平均を上回る降水量があったものの、2月、3月は平均を下回る状況となっています。（図-1、表-1参照）

4月の降水量は、18日までの累加で68mmとなっています。（4月の降水量の平均値は90mm）

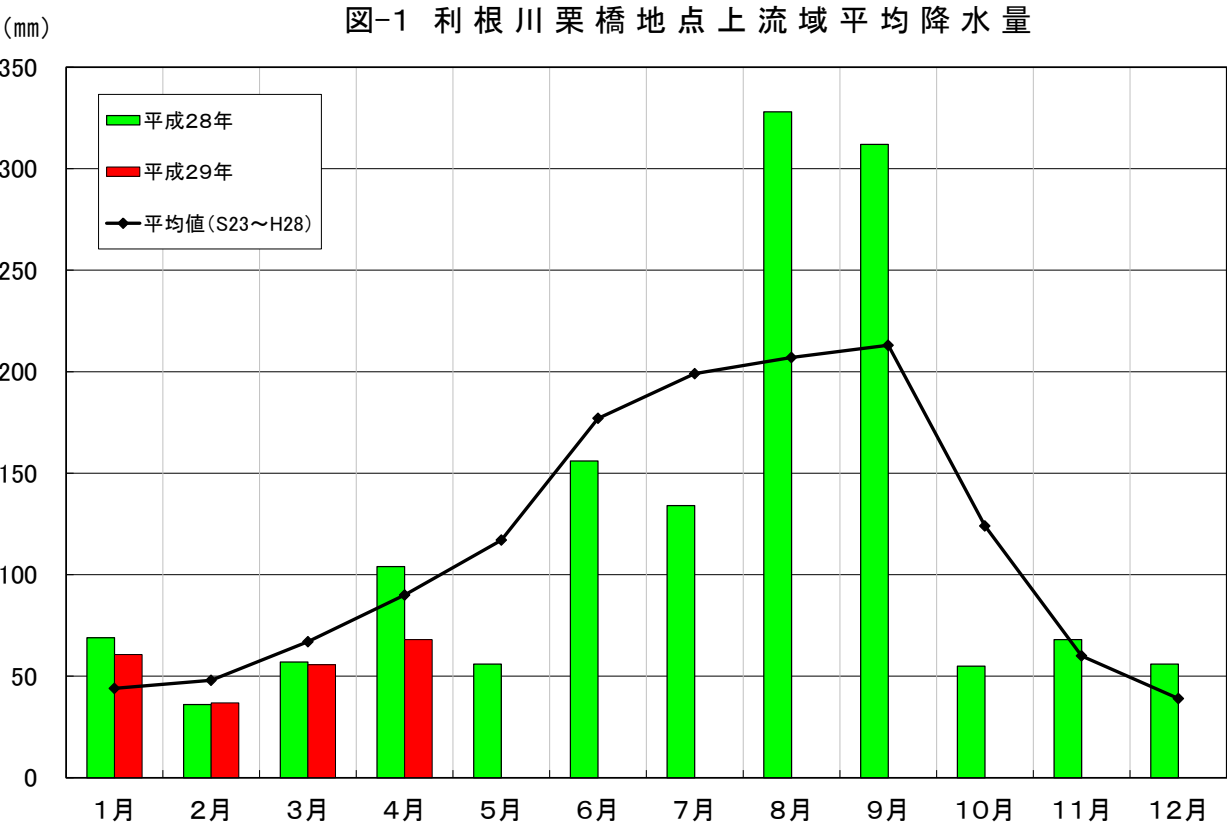


表-1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（平成29年4月18日まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川春夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成19年	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420	(少雪年)
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	利根川夏渇水
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294	"
平成28年	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1,431	
平均値 (S23-H28)	44	48	67	90	117	177	199	207	213	124	60	39	1,385	
平成29年	61	37	56	68									221	
平均値に対する割合 (%)	138	77	83	76									16	

※ 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

※ 栗橋上流域面積 8,588km²

(2) 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪状況

藤原ダム地点は11月24日に初冠雪となり、累加降雪量はH27-H28期を100cmほど大きく上回り、積雪深は平均値を上回ったまま推移し、4月18日に消雪しました（H27-H28期は3月15日に消雪）。また、尾瀬沼地点は、11月29日初冠雪となり、藤原ダム地点と同様に累加降雪量はH27-H28期を300cm以上上回り、積雪深は平均値とほぼ同様な推移となっています。

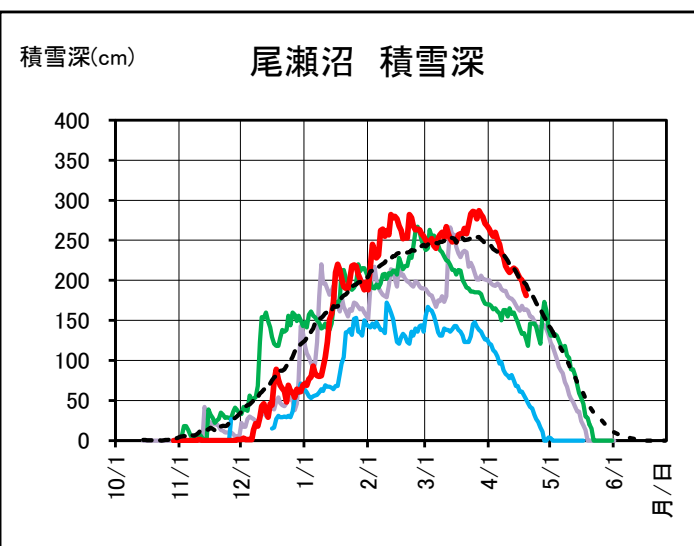
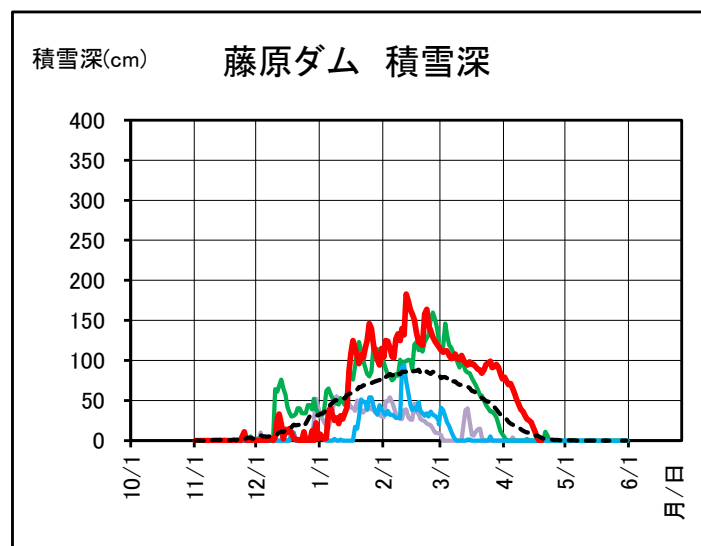
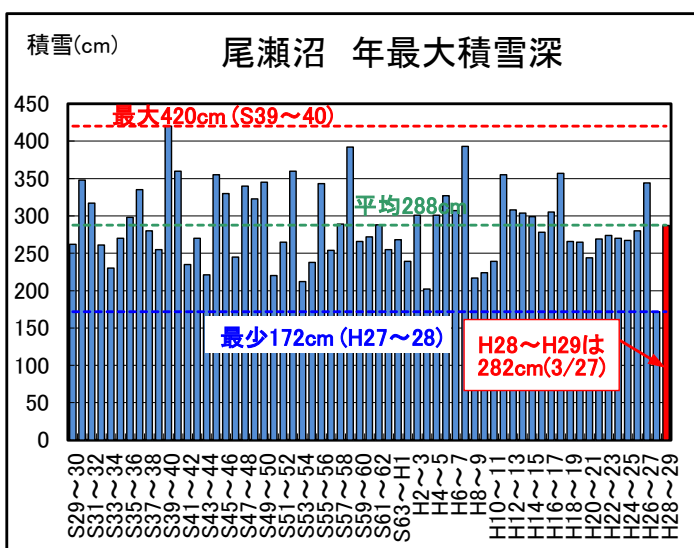
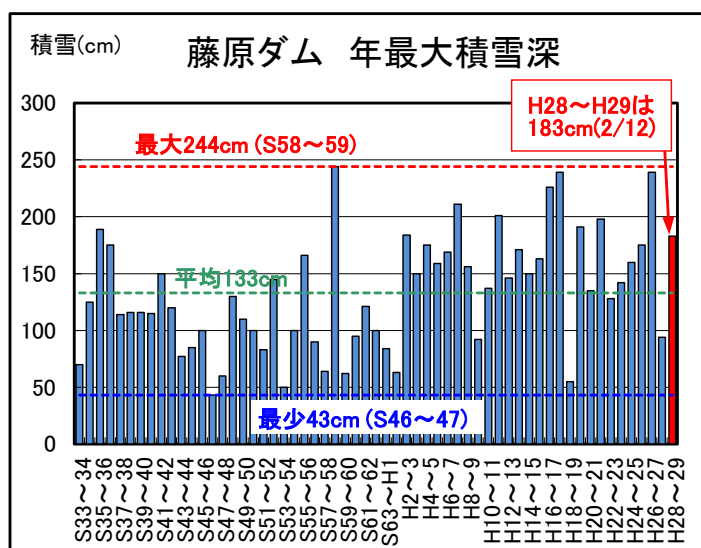
今期の最大積雪深は藤原ダム地点で183cm（2月12日 ※昨期は2月11日に94cm）、尾瀬沼地点で287cm（3月27日 ※昨期は2月10日に172cm）となっています。平成29年4月19日9時現在、藤原ダム地点の積雪深は0cm（4月18日に消雪）、尾瀬沼地点の積雪深は、181cm（平均値に対する割合は97%）となっています。

（表－2、図－2参照）

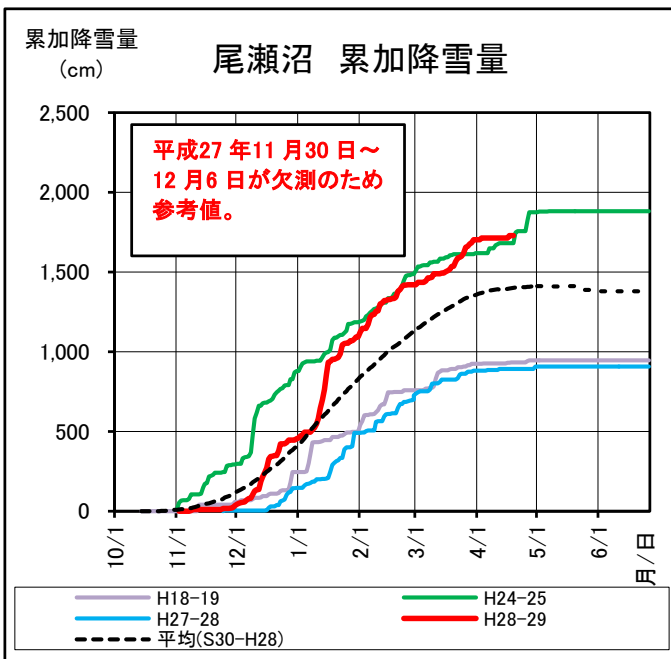
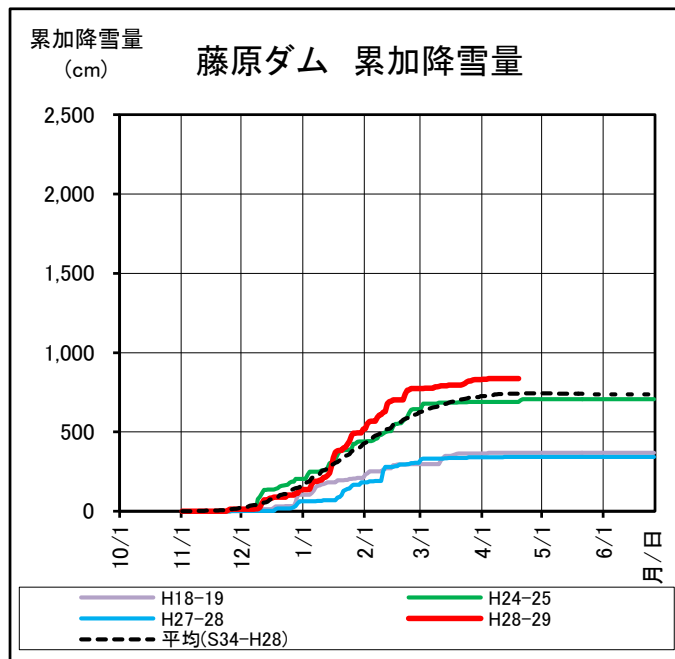
表－2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深	累加降雪量
藤 原 ダ ム (標高 667m)	平成 29 年 4 月 19 日 9 時現在	0 cm	183cm(2 月 12 日)	837 cm
	S34～H28 の 4 月第 4 半旬末平均値	3 cm		735cm
尾 瀬 沼 (標高 1666m)	平成 29 年 4 月 19 日 9 時現在	181 cm	287cm(3 月 27 日)	1,730 cm
	S30～H28 の 4 月第 4 半旬末平均値	187 cm		1,396 cm

図－2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量図



平成29年4月19日9時現在 ※過去及び平均のデータは半旬末の値



平成29年4月19日9時現在 ※過去及び平均のデータは半月末の値

(3) 各観測所の積雪深の状況

奥利根流域における積雪観測所の平成29年4月19日9時現在の積雪状況は、標高の高い観測所では100cm以上の積雪深があり、尾瀬沼観測所を除いては同時期の平均積雪深を大きく上回っています。

また、これらの観測所では昨年同時期には殆どが消雪していました。(図-3、図-4 参照)

図-3 積雪観測所位置図

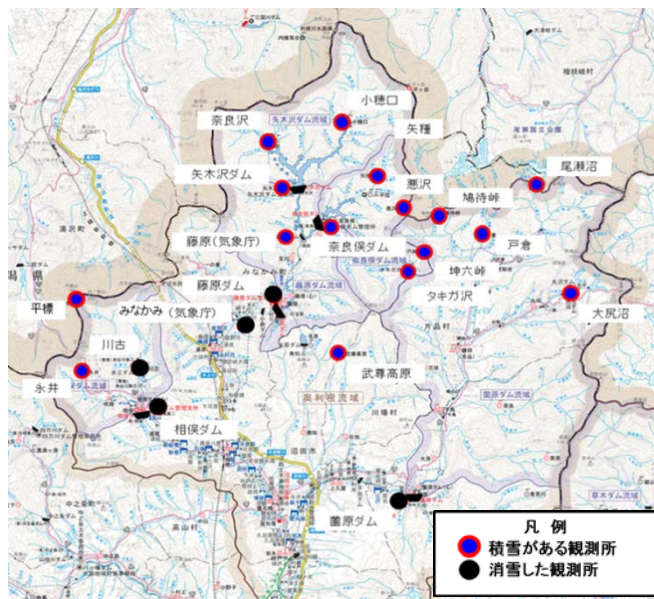
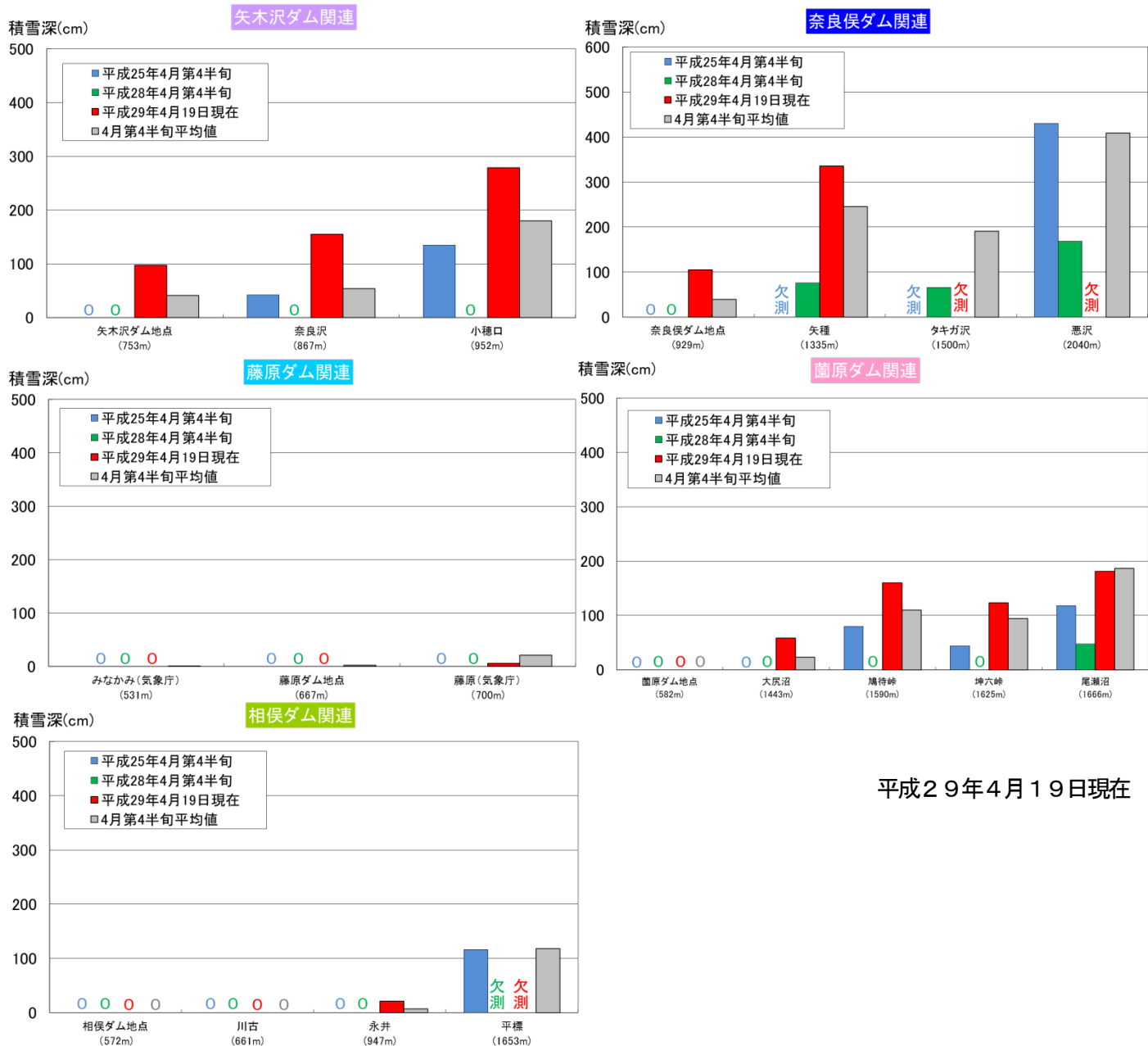


図-4 各観測所の積雪深状況



平成29年4月19日現在

(4) 利根川上流8ダムの貯水状況等（平成29年4月19日0時現在）

平成28年の利根川上流8ダムは、4月20日に5ダム（矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、藺原ダム）が満水状態となりました。その後、尾瀬沼の積雪観測所では平均に比べ1ヶ月早い消雪となり、更に5月中旬以降の降水量の少ない状態が続き、河川の流量が減少したため、都市用水や農業用水の需要を確保するためにダムに貯留した水を補給しました。その結果、貯水量は5月下旬から7月中旬にかけて過去25年間（奈良俣ダムが運用を開始し、8ダム体制となった平成4年以降）の同日の値と比べて最も少なくなりました。

平成28年の利根川においては、6月16日から9月2日の79日間（一時緩和期間を含む）にわたり10%の取水制限（施設未完成による暫定水利権については20%の取水制限）を実施しました。

平成28年の出水期以降、8月、9月には台風等によるまとまった降雨もあり、貯留及び工事制限水位に向けた運用を行い、12月29日0時に3億5,547万m³まで回復し、以降、奥利根5ダムは利根川の必要量を、下久保ダム・草木ダムは各支川の必要量を確保するための放流を継続しました。

しかし、2月の少雨で流況を維持するためダムからの補給量が多くなり、貯水量の減少が速くなったため、下流流況の維持と合わせ、北千葉導水路を運転し、ダム貯水量の温存を図りました。

4月に入り平年を上回る気温上昇があり、平成29年4月5日頃より徐々に融雪によるダムへの流入量が増加しました。

4月19日0時現在の利根川上流8ダムの合計貯水量は、3億1,088万m³、貯水率は67%（貯水量の平均値（平成4年～平成28年）に対する割合は89%）です。（表－3、図－5参照）

なお、奥利根5ダムの合計貯水量は1億9,213万m³、貯水率は73%で、藤原ダム、相俣ダム、藺原ダムは常時満水位に近づいたため、満水運用を行っています。

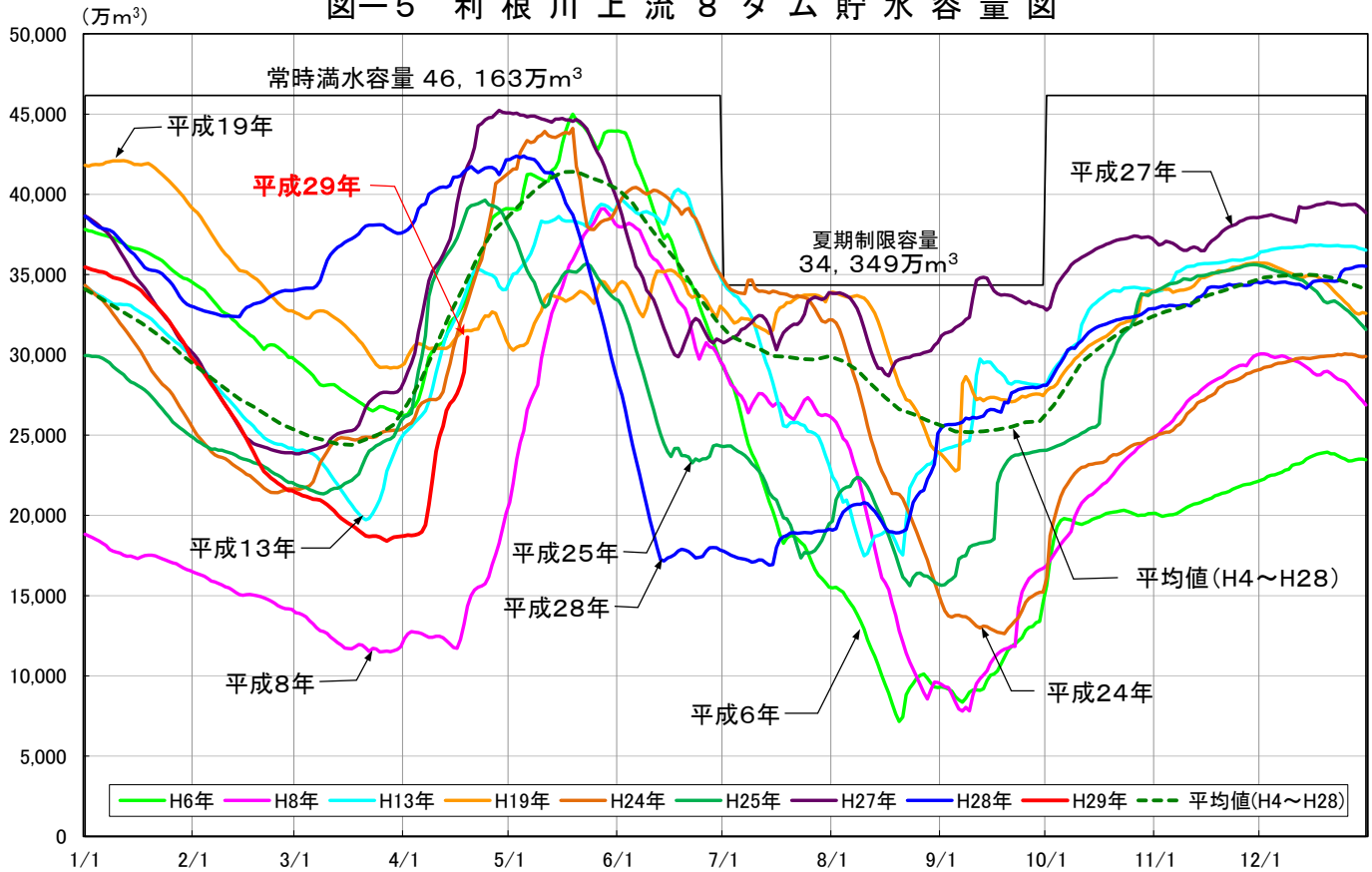
表－3 利根川上流8ダム貯水量

平成29年4月19日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
矢木沢ダム	11,550	6,906	60	－869
奈良俣ダム	8,500	6,169	73	－351
藤原ダム	3,101	3,038	98	－78
相俣ダム	2,000	1,905	95	－288
藺原ダム	1,322	1,195	90	－36
5ダム合計	26,473	19,213	73	－1,622
下久保ダム	12,000	8,275	69	－25
草木ダム	5,050	2,740	54	－444
渡良瀬貯水池	2,640	860	33	－72
8ダム合計	46,163	31,088	67	－2,163
8ダム合計の平均値 (平成4年～平成28年)		34,745	(平均値に対する割合 89%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

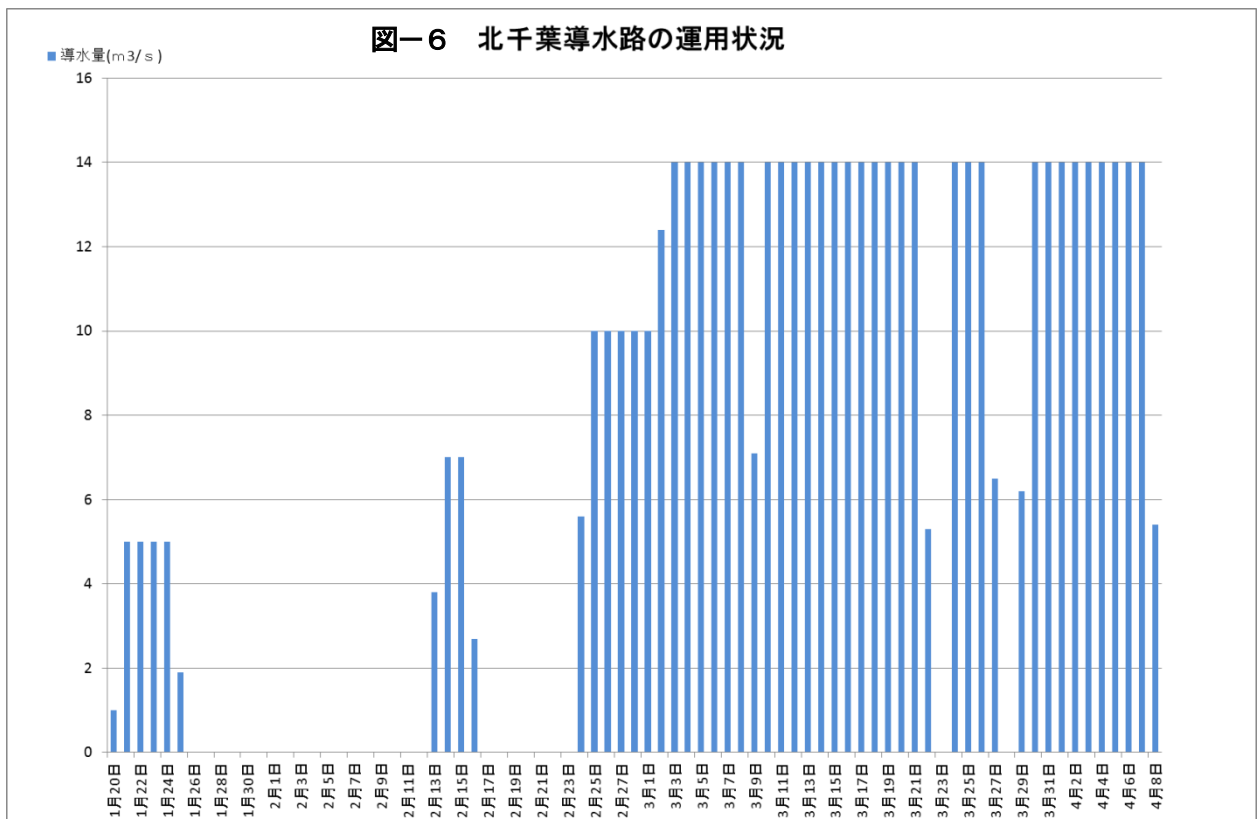
図一5 利根川上流 8 ダム貯水容量図



(5) 北千葉導水路の活用状況

年明けから奥利根5ダムより利根川への補給を行ってきたが、2月、3月の少雨傾向、融雪によるダムへの流入の遅れからダムの貯水量を温存、及び江戸川の流況改善のため北千葉導水路により利根川から江戸川への導水を1月20日より運転を開始し、4月8日までに最大14m³/s、総量約4,850万m³（52日間）の導水を行いました。（図一6参照）

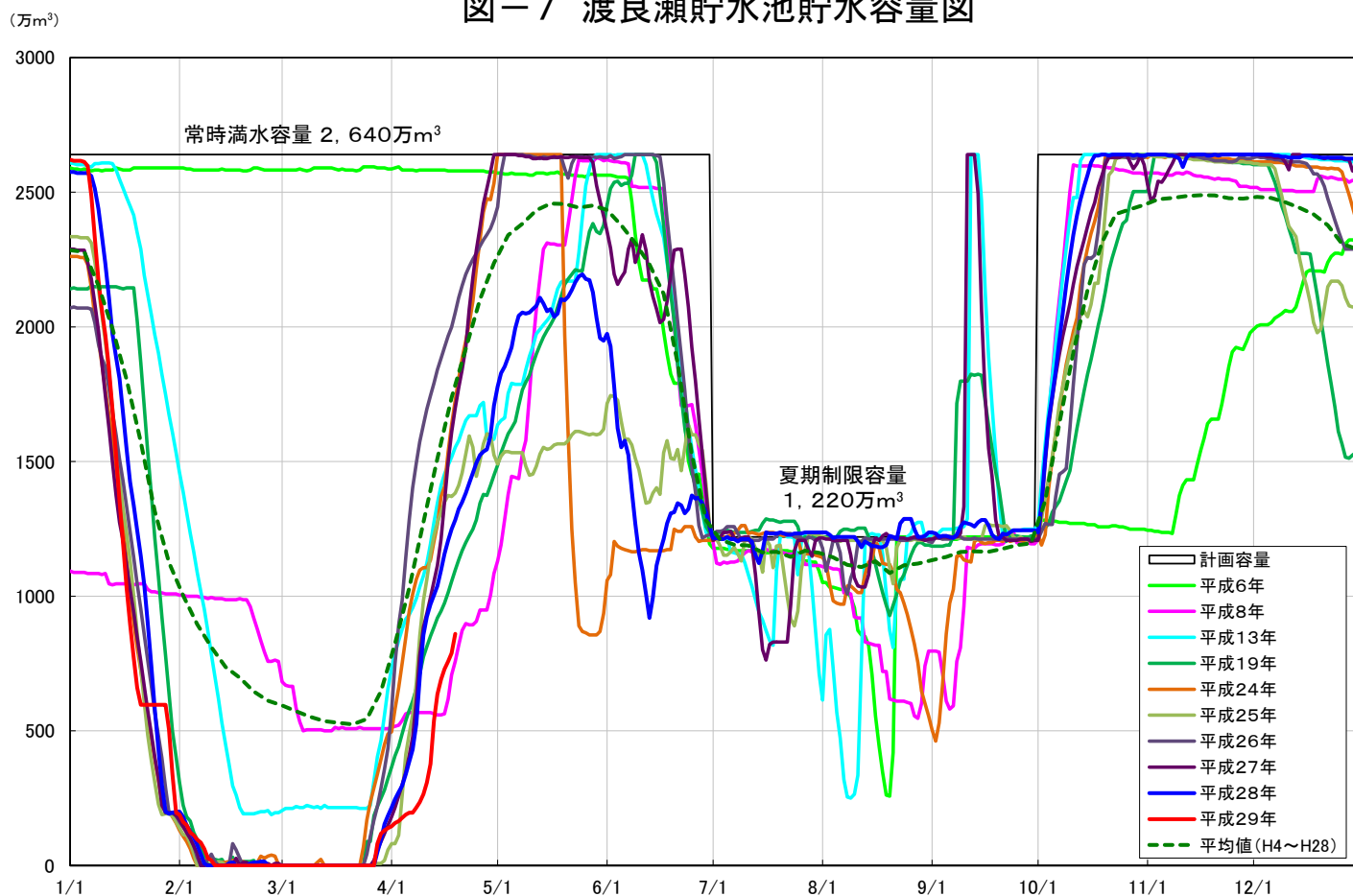
図一6 北千葉導水路の運用状況



(6) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。今年も1月5日より補給も兼ねつつ水位を下げ、干し上げを実施しました。その後、3月25日より貯留し、平成29年4月19日0時現在の貯水量は、860万 m^3 、貯水率は33%（貯水量の平均値（平成4年～平成28年）に対する割合は48%）です。（図－7）

図－7 渡良瀬貯水池貯水容量図



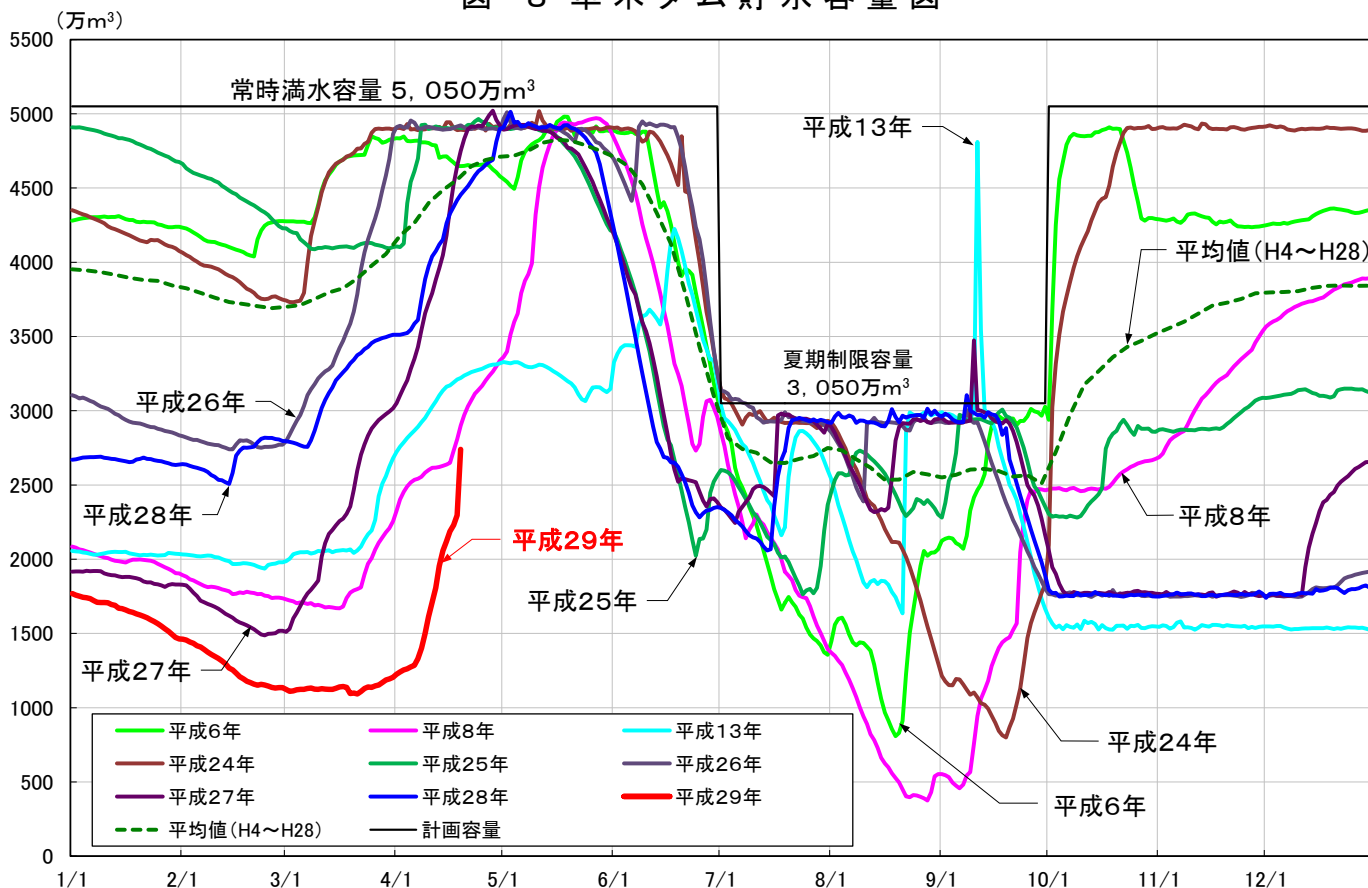
(7) 草木ダムの貯水状況（平成29年4月19日0時現在）

昨年（平成28年）、渡良瀬川においては、6月11日から9月2日の84日間（一時緩和期間を含む）にわたり10～20%の取水制限を実施しました。（20%の取水制限は6月25日から7月20日までの26日間）

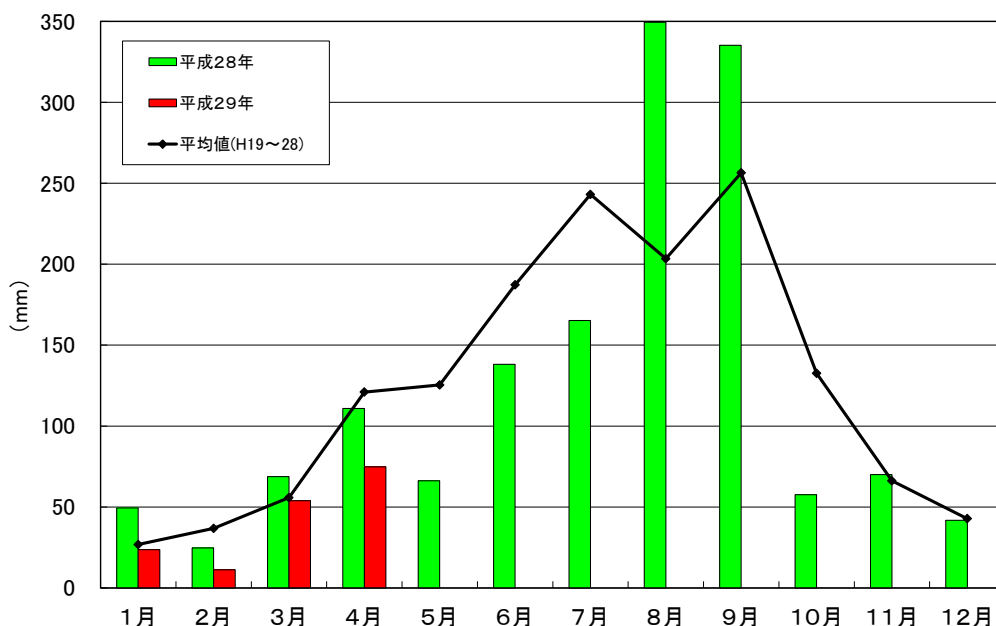
貯水量は、6月～7月に減少していたものの、その後は降雨に恵まれ貯水量は回復し、10月1日からの工事制限水位に向けて、9月16日より貯水量を低下させ、10月1日から12月19日まで工事制限水位を維持し工事が実施されました。工事制限水位解除後の12月20日以降は下流必要量を放流していましたが、1月～3月の小雨（図－9参照）によりダムへの流入が少なかったこともあり、貯水量はダム管理開始以降、最低を記録しました。4月のまとまった降雨により、現在、貯水量は回復傾向にあります。

4月19日0時の貯水量は、2,740万 m^3 、貯水率54%となっています。（図－8参照）

図－8 草木ダム貯水容量図



図－9 渡良瀬川流域（藤岡上流域）降水量



2) 鬼怒川

(1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（平成29年4月18日までの降水量）

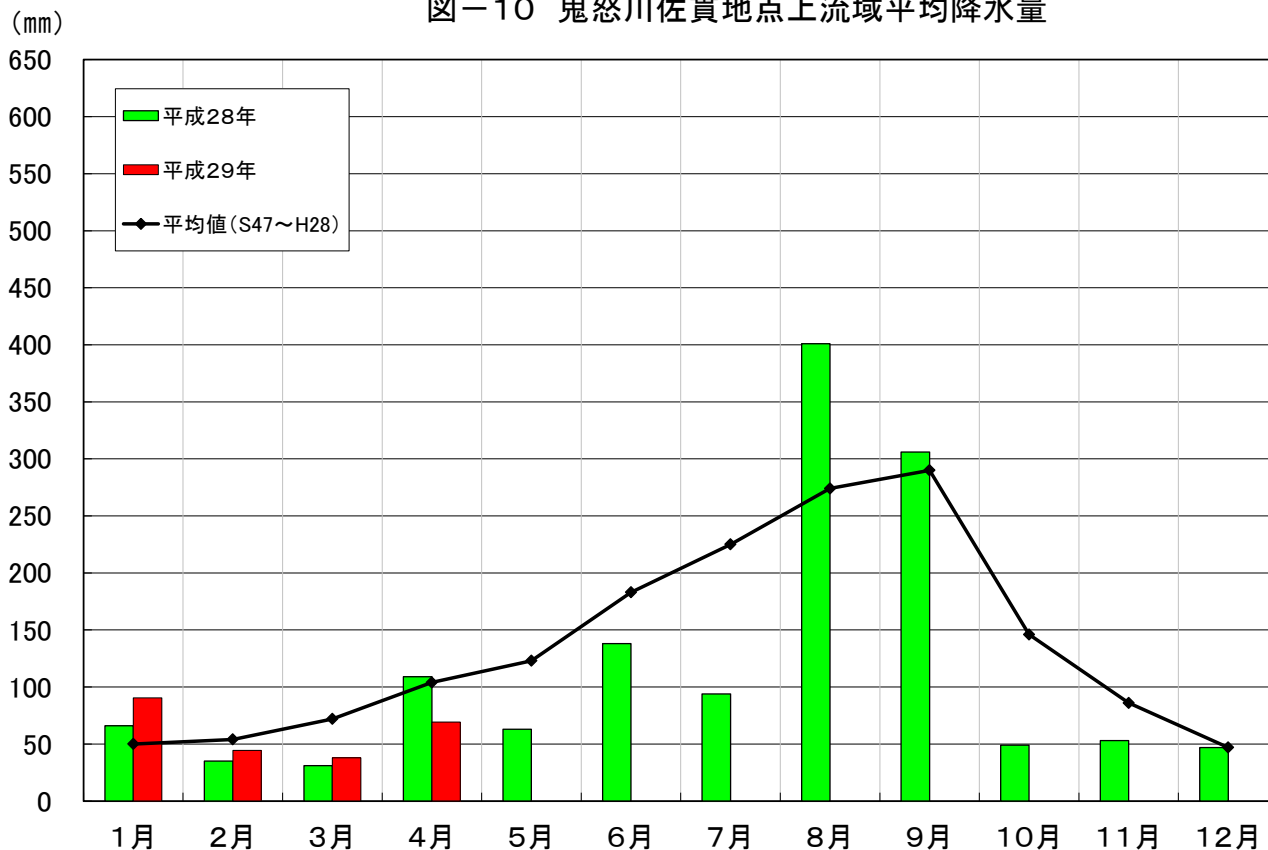
平成28年4月以降の佐貫地点上流域平均降水量は、5月、6月、7月、10月及び11月が平均値を下回りました。なかでも、7月の降水量は94mm（平均値（昭和47年～平成27年）に対する割合は41%）であり、昭和47年以降の45年間で2番目に少ない値となりました。

平成29年に入り、1月は平均値を上回りましたが、2月、3月は平均値を下回りました。

4月の降水量は18日までの累加で69mmとなっています。（4月の降水量の平均値は104mm）

（図－10、表－5参照）

図－10 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量



表－5 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（平成29年4月18日まで）

単位: (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成19年	31	15	21	41	122	176	298	115	471	142	18	27	1,477	
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838	
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1,614	
平成28年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1,392	
平均値 (S47-H28)	50	54	72	104	123	183	225	274	290	146	86	47	1,654	
平成29年	91	45	38	69									242	
平均値に対 する割合(%)	181	82	53	67									15	

※: 鬼怒川佐貫上流面積 940km²

(2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等(平成29年4月19日0時現在)

平成28年の鬼怒川上流4ダムは、4月中旬より都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果、5月上旬には平均値を下回る貯水量となりました。

鬼怒川においては、6月16日から9月2日の79日間(一時緩和期間を含む)にわたり10～20%の取水制限を実施しました。(20%の取水制限は7月28日から9月2日まで)

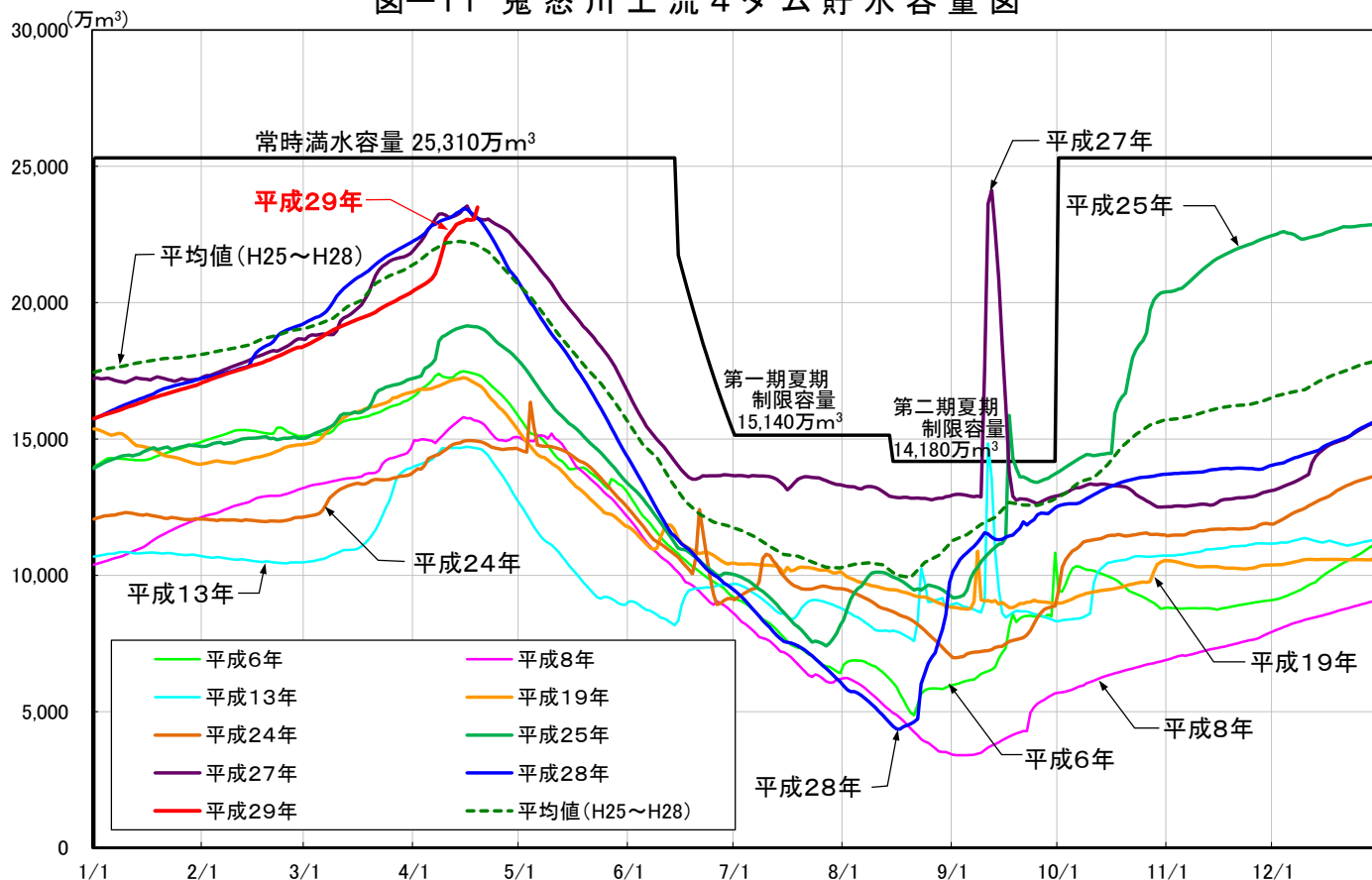
平成29年4月19日0時の貯水量は2億3,499万 m^3 、貯水率93%(貯水量の平均値(平成25年～平成28年)に対する割合は106%)です。(表-6、図-11参照)

表-6 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成29年4月19日0時現在				
ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)
五十里ダム	3,200	2,475	77	-69
川俣ダム	7,310	7,266	99	-48
川治ダム	7,600	7,112	94	-168
湯西川ダム	7,200	6,646	92	-161
4ダム合計	25,310	23,499	93	-442
4ダム合計の平均値 (平成25年～平成28年)		22,128	(平均値に対する割合 106%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)

図-11 鬼怒川上流4ダム貯水容量図



3) 荒川水系

(1) 秋ヶ瀬地点上流平均降水量の状況（平成29年4月18日までの降水量）

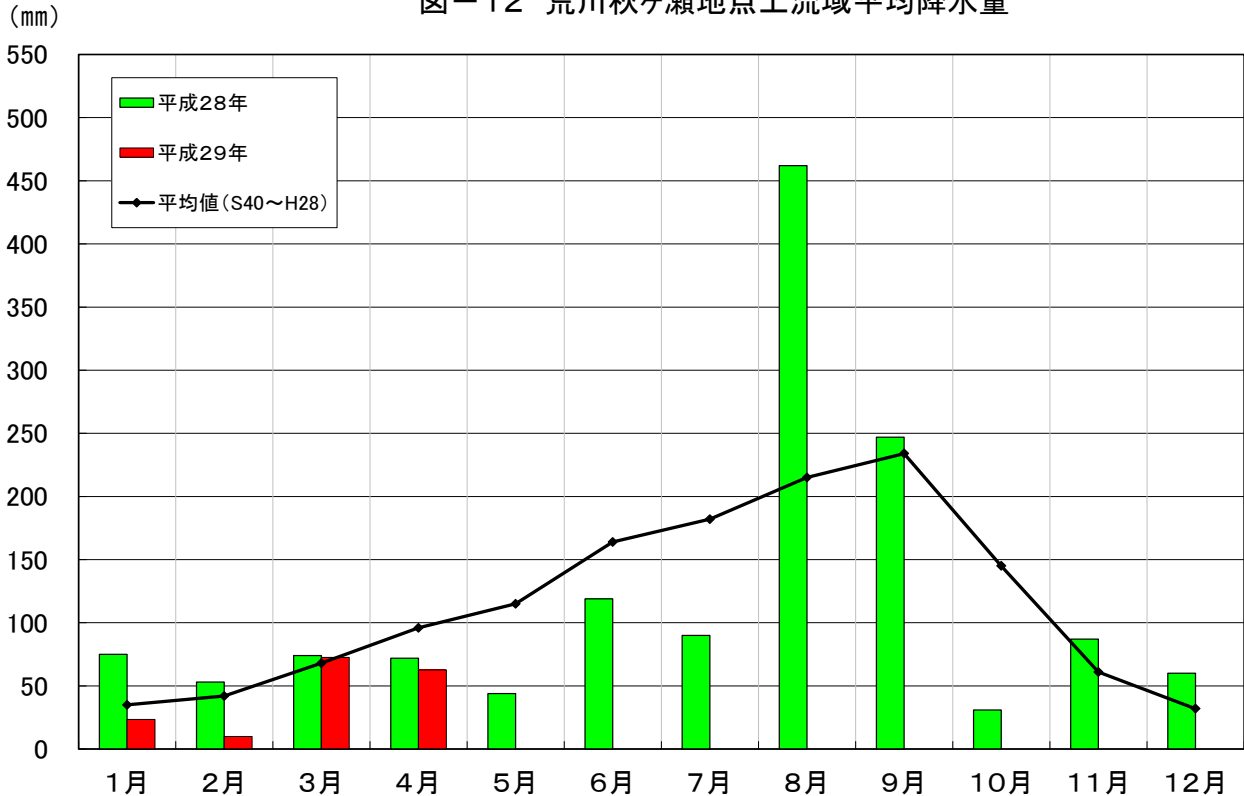
平成28年4月以降の秋ヶ瀬地点上流域平均降水量は、4月、5月、6月、7月及び10月が平均値を下回りました。なかでも、5月の降水量は44mm（平均値（昭和40年～平成27年）に対する割合は38%）であり、昭和40年以降の52年間で2番目に少ない値となりました。また、7月の降水量は90mm（平均値（昭和40年～平成27年）に対する割合は49%）であり、昭和40年以降の52年間で4番目に少ない降水量となりました。

平成29年に入り、1月、2月は平均値を下回り、3月は平均値を上回りました。

4月の降水量は、18日までの累加で63mmとなっています。（4月の降水量の平均値は96mm）

（図－12、表－7参照）

図－12 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量



表－7 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（平成29年4月18日まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平均値 (S40~H28)	35	42	68	96	115	164	182	215	234	145	61	32	1,389	
平成29年	24	10	73	63									169	
平均値に対 する割合(%)	67	24	107	65									12	

※: 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※: 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川上流4ダムの貯水状況等（平成29年4月19日0時現在）

平成28年の荒川上流4ダムは、5月中旬より都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果、8月17日には貯水量が4,371万m³まで低下しました。

少雨の影響により荒川上流4ダムの貯水量が大幅に低下したことから、荒川上流4ダム完成後で初めての取水制限に向けて本協議会の担当者の打ち合わせを行い、対応について協議しておりましたが、台風等の降雨により貯水量が回復したことから取水制限は免れました。

平成29年4月19日0時の貯水量は8,116万m³、貯水率56%（貯水量の平均値（平成22年～平成28年）に対する割合は83%）です。

（表－8、図－13参照）

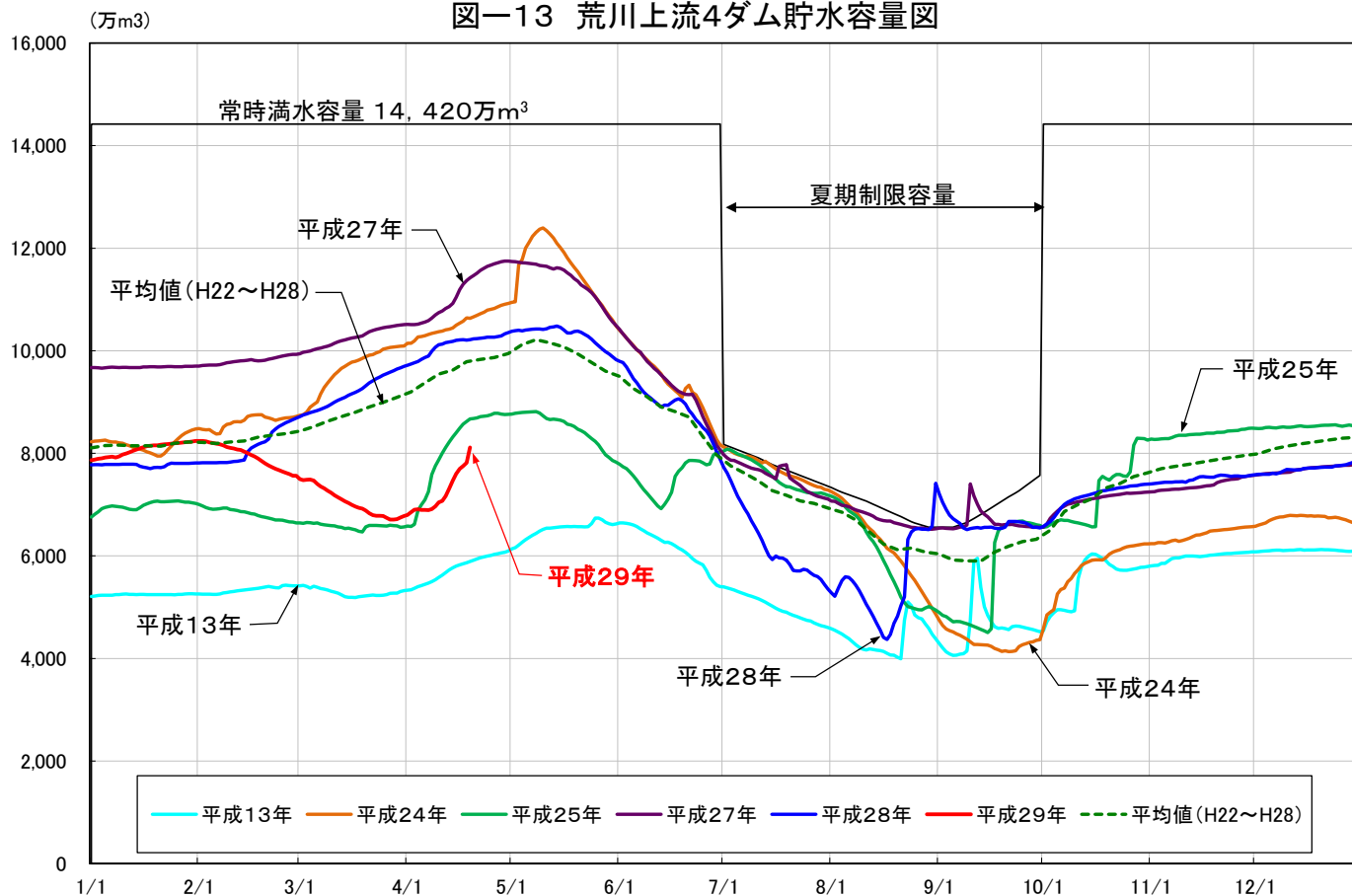
表－8 荒川上流4ダム貯水量

平成29年4月19日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	1,277	64	－168
滝沢ダム	5,800	2,697	47	－73
浦山ダム	5,600	3,201	57	－9
荒川貯水池	1,020	941	92	－50
4ダム合計	14,420	8,116	56	－300
4ダム合計の平均値 (平成22年～平成28年)		9,792	(平均値に対する割合 83%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

図－13 荒川上流4ダム貯水容量図



4) 多摩川水系

(1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況 (平成29年4月18日までの降水量)

小河内ダム地点上流域平均降水量の平成29年4月の降水量は、18日までの累加で78mmとなっています。(4月の降水量の平均値は111mm) (図-14、表-9参照)

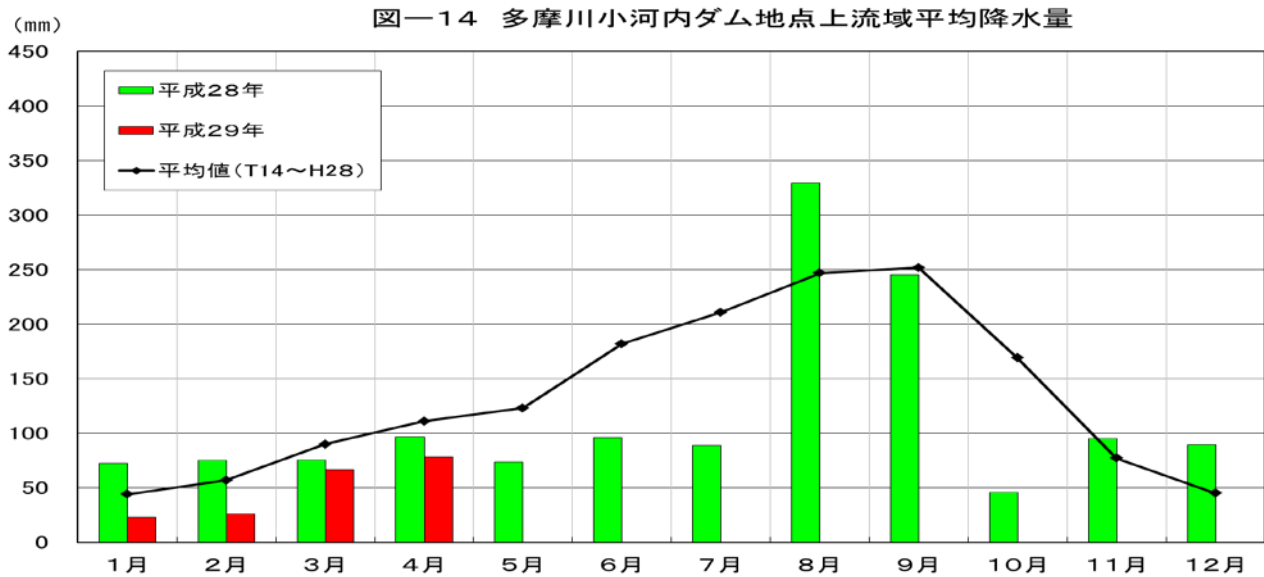
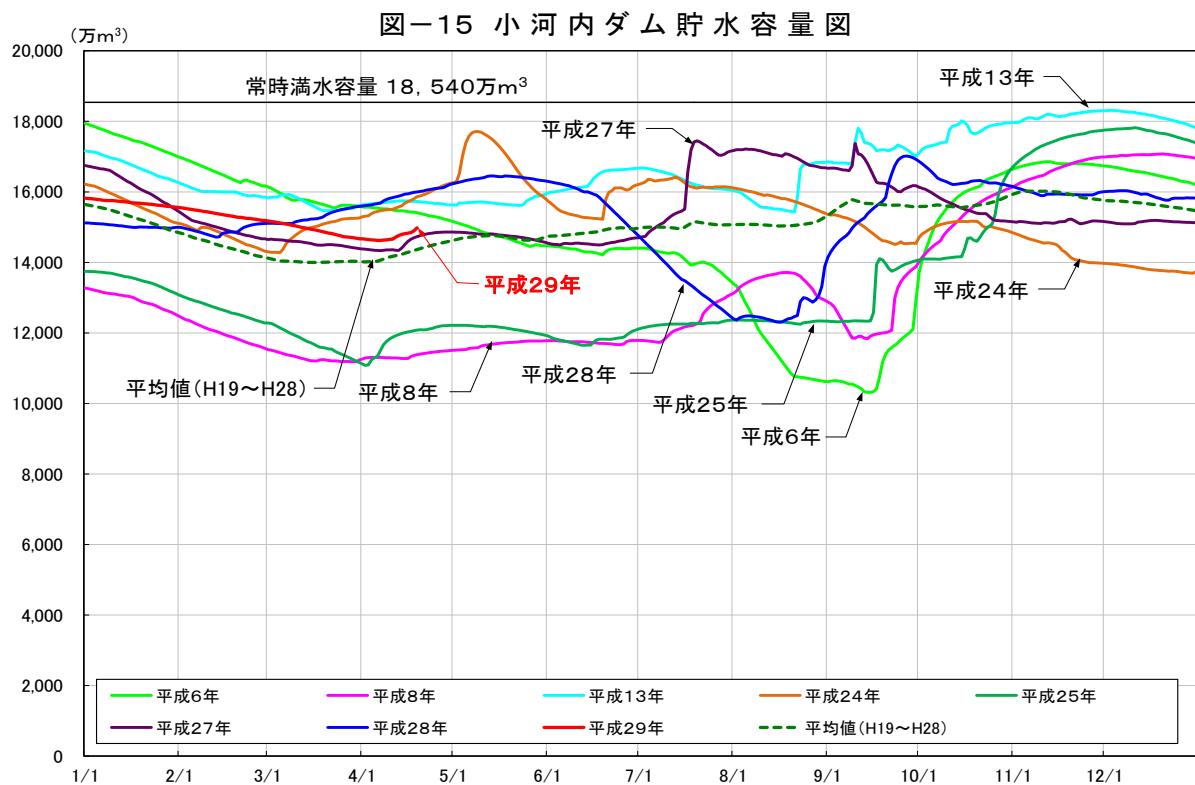


表-9 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量 (平成29年4月18日まで)

単位: (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成28年	73	75	76	97	74	96	89	329	245	46	95	89	1,384	
平均値 T14~H28	44	57	90	111	122	182	211	247	252	169	77	46	1,608	
平成29年	23	27	67	78									195	
平均値に対する割合 (%)	53	46	74	70									—	

(2) 小河内ダムの貯水状況

4月19日7時現在の貯水量は、1億4,978万 m^3 となっています。(図-15)



2. 今後の見通し

(1) 見通し

平成29年4月13日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月15日から5月14日までの天候見通し)によると、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少なく、向こう1ヶ月の降水量は「平年並み」または「多い」確率40%となっています。また、3月24日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、4月の天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多く、降水量は「平年並」または「少ない」確率ともに40%となっています。5月の天気は数日の周期で変わり、降水量は「少ない」確率が40%となっており、6月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は「平年並」の確率が40%となっています。

なお、2月24日気象庁発表の暖候期予報(6月から8月までの天候の見通し)によると、6月から7月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、その後は平年に比べ晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率が40%となっています。

1か月予報(平成29年4月13日発表)

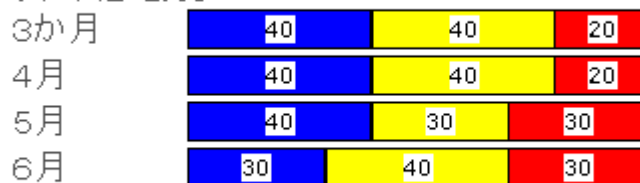


凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報(平成29年3月24日発表)

【降水量】

[関東甲信地方]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報(平成29年2月24日発表)

〈夏(6月～8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3. 工事制限水位等について（予定）

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間											
				平成29年						平成30年					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利根川ダム統管	相模ダム	①H29西川貯砂ダム新設工事 ②H29相模ダム維持工事	①貯砂ダム ②土砂掘削	②工期	29年4月1日～				①工期	29年9月7日～				30年3月31日 30年3月31日	
		制限貯水位 EL553.0m 制限期間 平成29年10月1日から平成30年3月31日			EL565.0m 20,000千m ³			EL553.5m 10,600千m ³	10/1	①EL553.0m 20,000千m ³		EL565.0m 20,000千m ³			
	蘆原ダム	貯水池内土砂掘削	土砂掘削						工期	10月上旬～	12月下旬				3/31
		制限貯水位 EL546.0m 制限期間 平成29年10月1日から平成29年12月28日			EL565.0m 13,220千m ³			EL553.00m 4,800千m ³	10/1	EL546.0m 13,220千m ³		EL565.0m 13,220千m ³			
水資源機構	矢木沢ダム	矢木沢ダム洪水吐修理用ゲート設備工事	修理用ゲート等据付 仮設足場設置・撤去 戸当り金物等据付 修理用ゲート試験設置・撤去	工期	29年1月17日～									30年3月20日	
		制限貯水位 EL837.5m 制限期間 平成29年10月1日から平成29年12月15日			EL850.0m 153,686千m ³				10/1	EL837.5m 101,161千m ³	12/15				

工 期 → 制限水位 ----- 工事制限水位 -----

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間												
				平成29年												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
鬼怒川ダム統管	五十里ダム	五十里ダム取水放流設備新設工事	選沢取水設備新設 利水放流管更新(ダム堤体掘削)													
		H28五十里ダム施設改良工事														
		五十里ダム 制限貯水位 EL545.00m 制限期間 平成29年10月1日から平成30年2月28日		EL586.0m 32,000千m ³			EL578.0m 16,500千m ³			EL575.0m 11,200千m ³			EL545.0m 0千m ³			2/28
										10/1						

→

工期

—

制限水位

- - -

工事制限水位

[illegible]

関東地方の主要な河川と水資源開発施設

